

国語科の授業改善に向けた学校支援
～声に出すことを楽しむ子どもの
育成に向けて～

斐太南小学校チーム
寺島元子 金子緑条 小保方篤

アドバイザー 松本修
特任教授 笹川恵美子

斐太南小学校の学校課題

表現することを楽しむ子どもの育成

他者との関わり合いを大切にし、
自分の思いを素直にまたわかりやすく表現できる力



「声を出すことを楽しむ子どもの育成」として
音読・発表を重点目標に

授業づくり

研究推進委員会、授業者との指導案検討、
資料調査、学習者の学びの様相の分析

支援の方向性

研究主題具現の具体的な姿

- ・自分の考えや思いを伝えたい
という気持ちを持ち、進んで話そうとする姿
- ・音読や群読などにおいて
声を出すことの楽しさを感じている姿

研究の方向性

音読から発表へ

<研究授業>

2年生「おうちの人に紹介しよう」

1年生「本と友だちになろう」

6年生「筆者の考えを受け止め、自分の考えを発信しよう」

発表
の
必然性

発表を
楽しむ
学習
環境

『小学校学習指導要領』より

『小学校学習指導要領』

「第1章 総則」 「第4 指導計画の作成に当たって配慮すべき事項」 2- (1)

各教科の指導に当たっては、児童の思考力・判断力・表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図るとともに、児童の言語活動を充実すること」

◆言語能力育成のための言語活動の充実

◆「活用」に重点をおいた学習活動の重視



発表力向上

言語能力育成を目指した国語科授業改善

①コミュニケーションのあり方の再考

個々の学習者の考えを相互に確認できるような学習の工夫

②探究的な活動中での活用の多様性の確保

【国語の知識・技能】

習得→~~活用~~→探究

探究的な活動の中で習得と活用とを往還しながら身に付くもの

可能な限り多様性をもったものとして「活用」を捉えていくことが重要

松本修:「言語能力を育成する「国語」の授業改善」,『教育時評』No.21, 学校教育研究所, 2010.6, p17

松本修:「新学習指導要領・小学校国語科の解説」,『TEADA』No.5, 学校図書, 2009.4

佐藤多佳子:「言語活動の充実に向けて～「活用」の多様性と学習デザイン～」,『TEADA』No.7, 学校図書, 2010.4

単元構想の経緯

提案①

具体物をもとに言語活動を構成

図工作品「わたしの花」（児童にとって価値ある素材）

提案②

探究的な活動となるような単元構成

- ・文化祭でのビデオ放映による作品紹介（活動目標）
- ・指導事項「話す内容と順序」「話し方の観点」の明確化（指導目標）

提案③

対話活動の積み重ね…言葉の蓄積

学習デザイン

(1) 単元名

「おうちの人に しょうかいしよう わたしの花はこんな花」

(2) 単元のねらい

自分の図工作品について、話し方に気を付けながら、分かりやすく自信をもって発表する。

(3) 指導計画(全7時間)

第1次	自分の図工作品について知らせたい内容を決める。分かりやすく伝わるように、話す順序について考え、お話メモを作る。よい話し方・聞き方について学習する。(3時間)
第2次	よりよい発表の仕方について考え、グループで発表の練習をする。(2時間)
第3次	発表会を行う。発表の様子を映像で記録する。(1時間)
第4次	斐太南小祭りで映像を使って発表を行う。おうちの人感想を読み、学習の振り返りを行う。(1時間)

単元構成の工夫

第1次	自分の図工作品について <u>知らせたい内容</u> を決める。分かりやすく伝わるように、 <u>話す順序</u> について考え、お話メモを作る。 <u>よい話し方・聞き方</u> について学習する。(3時間)
第2次	よりよい発表の仕方について考え、グループで <u>発表の練習</u> をする。(2時間)
第3次	<u>発表会</u> を行う。発表の様子を <u>映像で記録</u> する。(1時間)
第4次	斐太南小祭りで <u>映像を使って発表</u> を行う。おうちの人感想を読み、学習の振り返りを行う。(1時間)

指導目標

(発表の知識・技能)

- ・ **話す内容と順序**
- ・ **よい話し方**

活用しながら習得する

よりよい発表を目指す

活動目標

文化祭でのビデオによる発表